

かわぐち

2006. 3月号 No.389

今月の主な内容

- 町の財政状況をお知らせします…2～3
- り災者公営住宅建設予定地決まる…4
- 担い手の育成と集落営農を推進……5
- 4月から介護保険制度が改正に…6～7
- 2年続きの豪雪……………8
- 希望と復興の灯りが町を包む……………10

ほか



まめまき 福はうち！鬼はそと！

2月3日、節分。東川口保育園でまめまきを行いました。

園児たちは悪いくせや病気など、自分の直したいこと、追い出したいことを心に念じながら、赤鬼、青鬼に向かって「福はうち！鬼はそと！」と一生懸命に豆を投げつけました。気持ちのこもった豆に鬼たちは退散して福の神になり、園児たちの大好きなお菓子をまいてくれました。保育園ではこの節分によって子どもたちがすこやかに育つことを祈念しています。

命に豆を投げつけました。気持ちのこもった豆に鬼たちは退散して福の神になり、園児たちの大好きなお菓子をまいてくれました。保育園ではこの節分によって子どもたちがすこやかに育つことを祈念しています。

元気です！かわぐちっこ ⑩③

水落 ^{ほくと}北翔 ^{ちゃん} (大形・2歳)
^{おとうさん} 一久さん ^{おかあさん} 美和さん



お姉ちゃんの七星ちゃん(左)と元気な北翔くん(右)

好き嫌いなく何でも食べる北翔くん、特にお米が大好きです。お姉ちゃんと一緒にママゴトをしたり、晴れた日には元気にソリで滑って遊んでいます。アンパンマンが大好きで自分でビデオを再生して何度も見えています。北翔くんとお姉ちゃんの七星ちゃん二人の名前を合わせて、夜空に輝く北斗七星になります。ロマンチックでしょ。

俳句

大内迪子先生選 公民館句会(1月7日)

- 声高に雪掻き同土朝まだき
- 二メートル屋根の除雪の暮るるまで
- 今年また大根干され老健に
- 朝日差す新雪の道踏みけり
- 風花の舞うて日暮となりけり
- 先ず暦掛け新年を祝ひけり
- 三山を正して初日昇りけり
- 初売りの街にひねもす雪しまく
- 初雪や冬のソナタの曲弾けば
- 三山も雪化粧してお元日
- 除雪して今日も引き上ぐ新築場
- 降る雪に耐へ復興の明日思ふ
- 被りたる雪を透きをる藪柑子
- 穏かに今年の一步踏み出せり
- 一群の鷺渡りゆく初御空
- 音も無く一夜に積る雪の嵩
- 山里の日暮の早き雪催ひ

- 上村 たつお
- 星野 きの
- 村山 むら女
- 佐藤 信
- 石坂 シゲ
- 岡村 佐和子
- 鈴木 良仙
- 藤田 節子
- 真島 セツ
- 丸山 トシ
- 三輪 京子
- 目黒 せつ
- 森山 菊江
- 山田 チヨ
- 山田 久子
- 渡辺 登子
- 丸山 好枝



■次会のお知らせ
 2月4日(土) 鮪 政 12時から

町の財政状況のお知らせ

財政は危機的状況 行財政改革に取り組みます

当町では国の三位一体の改革に伴う影響や度重なる災害による経費の大幅な増加が財政を圧迫し、財源不足を補てんするため基金残高も大きく減少し財政は危機的状況にあります。このような財政状況の要因と今後の町の対応などについてお知らせします。

町の歳入状況は

歳入面では、国の三位一体改革に伴う国庫補助負担金の廃止、地方交付税改革に伴う交付税の縮減、一方で税源移譲に伴う所得譲与税の増を見込んで財源不足による影響額は徐々に大きくなっていくことが予測されます。

特に普通交付税は平成17年度で14億6千万円が見込まれていますが、平成18年度においてはその算定の基礎となる2005年国勢調査人口が5233人となり県内最高の減少率（マイナス9%）になっ

たことは、今後の普通交付税の減額に直結することになり、歳入面で一層厳しくなることが予測されます。

また自主財源の基である町税は、震災による固定資産税減免や住民税減収の影響から、平成15年度の5億8百万円が平成16年度では4億6千万円に減少、平成17年度では4億1千4百万円に減少することが見込まれていま

町の歳出状況は

一方歳出面では、温泉施設など着丘の杜公園の公共施設など予算の編成に当たってきましたが、財政の危機的状況を踏まえ、人件費の削減やさらなる行財政改革を断行していく方針です。

既に実施している特別職（町長、助役）給料の2割削減に続き、教育長給料の減額、管理職手当等の削減、一般職員（臨時職員含む）の期末手当の削減、県内旅費の日当廃止などを4月から実施することとし、3月議会に平成18年度予算案とともにこれらの条例改正案を提出する予定です。

また役場職員で構成する「町内行政改革推進検討会」を設置し、全ての事務事業の見直しや行政経費の削減など徹底した行財政改革を実施していくこととしています。

厳しい財政状況の中ですが、一日も早い震災からの復興、復興をめざして全力を挙げて取り組んでいく方針ですので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

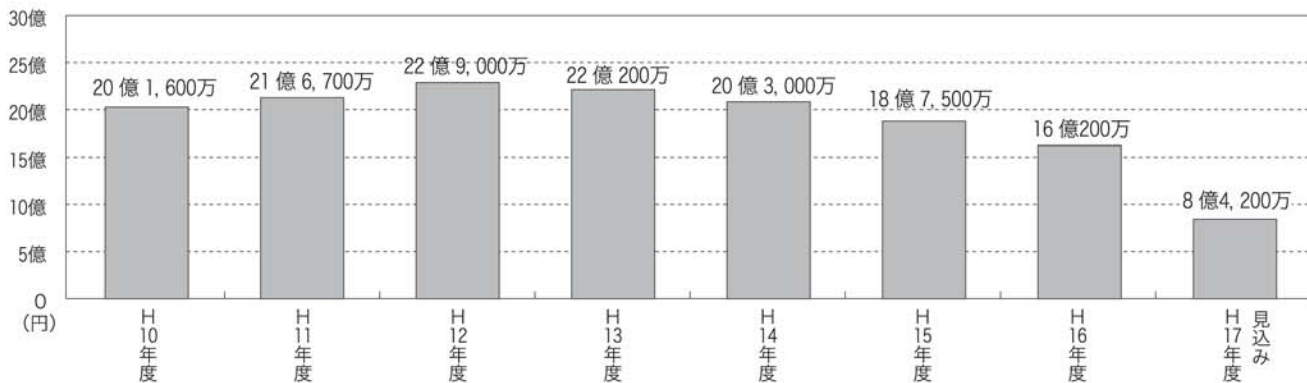
問い合わせ 総務課

☎ 89-3111

徹底した行財政改革 を断行し復旧・復興 事業に全力

町では、これまで平成18年

基金残高の推移（一般会計の数値）



数値で見る町の財政力

Table with 8 columns (Fiscal Year) and 5 rows (Fiscal Power Index, Regular Income Ratio, Public Debt Ratio, Debt Limit Ratio). It compares town and prefecture average values.

*平成16年度の県平均は未定

用語解説

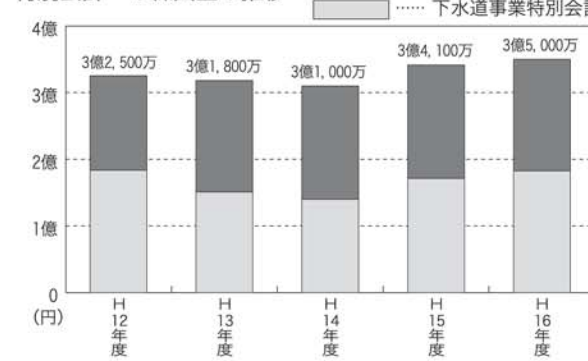
財政力指数……地方公共団体の財政力を示す指標で、指数が1に近くあるいは1を超える場合、財源に余裕があるものとされます。指数の大きい場合には、普通交付税の不交付団体となります。（県内では、聖籠町・湯沢町・刈羽村の3団体）

災害関連経費の増大が財政を圧迫
こうした中で一昨年の7・13水害や中越地震の発生、さらに昨年の豪雨災害、2年連続の豪雪と度重なる災害に見舞われたことで災害関連経費の町単独負担が増大し財政を大きく圧迫しています。

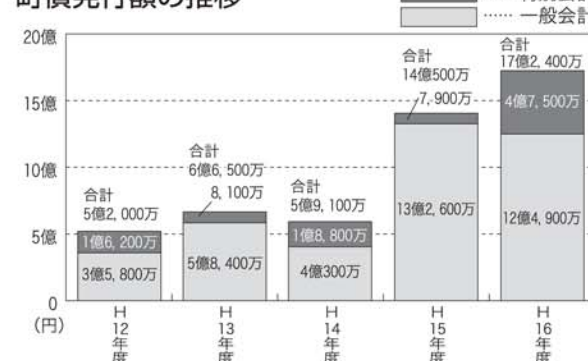
元利償還金の推移



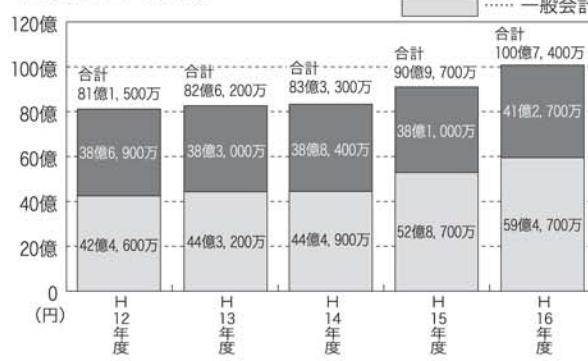
特別会計への繰出金の推移



町債発行額の推移



町債残高の推移



東川口、西川口地区

り災者公営住宅建設予定地決まる

平成18年度に工事発注予定の東川口地区及び西川口地区り災者公営住宅の建設予定地が決定しましたのでお知らせします。



東川口地区 り災者公営住宅

東川口地区り災者公営住宅（38戸の予定）は旧しみず団地跡地に建設されます。当初計画では、高床式木造住宅（長屋型）で建設する計画でしたが、用地の確保や冬期間の堆雪場所や除雪の問題などにより鉄筋コンクリート3階建1階部分駐車場（エレベータ付）に変更しました。今後の予定は測量、ボーリング調査、設計を経てから工事発注を行います。

西川口地区 り災者公営住宅

西川口地区り災者公営住宅（26戸の予定）は旧大瀬建設跡地に建設されます。



り災者公営住宅イメージ図

構造は当初計画のとおり、高床式木造住宅（基礎部分は鉄筋コンクリート造り）で2〜4戸組み合わせた長屋型住宅になります。今後の予定は平成18年度早々に工事発注を行います。着工済のり災者公営住宅とよしとみ住宅の竣工予定

建設企業課
☎89-4416

活力ある農業を目指して

担い手の育成と集落営農を推進

町の農家の高齢化や後継者不足、震災などの影響により農業離れが深刻な問題となっています。このような状況で町では、担い手の育成と集落営農の推進を一層進めていきます。

川口町の農業の現状

川口町の全農家の約9割は兼業農家で、うち約8割が2種兼業農家です。また耕作面積が1ha未満の農家は6割を超え、経営規模の小さい農家が多い現状にあります。

このような中で農家の高齢化が進む一方、後継者不足や震災被災者を中心に、農業離れも深刻化しており、今後農地の荒廃も大きく懸念されています。

国は担い手主体の農業政策に転換

一方国は、平成17年3月「新たな食料・農業・農村基本計画」に基づき平成19年から「新たな経営所得安定対策等」を導入することとし、これまで

くか、関係者による十分な話し合いが求められています。今なぜ集落営農なのか

このような問題を解決する一つの方法として集落営農が注目されています。町内では集落営農組織として、すでに昨年9月「グループファーム武道窪」、今年1月に「ファーム田麦山」が設立されました。

集落営農は、①農業のコスト低下（機械の共同化など）②農作業にゆとりが生じる（集団で行う農作業は効率的）③個々の適性に応じた農業が可能（高齢者、女性、兼業農家それぞれの特技や適正に応じた役割が可能）④集落の農地保全が可能⑤住みよい集落づくりにつながる（集落のみならず語り合い協力し合う中でコミュニティが深まり、生活環境の改善や地域の活動の活性化につながる）などのメ

リットがあります。

担い手の確保と経営規模の拡大の推進を

町では、平成18年度も継続して町や新潟県、農業委員会、JA北魚沼川口営農センターが一体となり農業生産法人設立の指導や認定農業者への農地集積5割以上を目標に、これまで以上に集落営農に関心のある農家に助言や支援を行っていく方針ですので、農家の皆さんの積極的な取組をお願いいたします。

農村振興課
☎89-3113

集落営農とは
集落を単位として農業生産過程における一部又は全部についての共同化・統一化に関する合意の下に実施される営農（農業用機械の所有のみを共同で行う取組及び栽培協定又は用排水の管理の合意のみの取組を行うものを除く）を行っているものをいいます。

「新たな経営安定対策等」の農家懇談会を開催します

「新たな経営安定対策等」の農家懇談会を開催します。懇談会ではこの対策内容についての説明と町の米づくりなどについての意見交換を行いますので、ご参加ください。

問い合わせ 農村振興課 ☎89-3113

日 時	対象地区	会 場
3月7日(火) 19時30分～	木沢、峠 西川口、小和北	木沢会館よろみ 西川口集落開発センター
3月8日(水) 19時30分～	田麦山 牛ヶ島、貝ノ沢	田麦山会館(除雪車庫2階) 牛ヶ島集落開発センター
3月9日(木) 19時30分～	相川、武道窪、荒谷 和南津	相川サンウッド 和南津農村公園仮設集会所
3月10日(金) 19時30分～	中山、野田、竹田、牛ヶ首 東川口	中山生活改善センター 生涯学習センター

4月から介護保険制度が改正

介護予防を重視した制度に

平成12年に創設された介護保険制度は、急速な高齢化や将来予想される課題に対応できるように制度全般が見直し、4月から改正介護保険法が施行されます。主な改正内容をお知らせします。

今回の改正では自立支援をより徹底するため、要介護の状態が軽度の者に対する保険給付について、介護サービス内容やサービスを計画的に提供していく体制が見直されました。

新予防給付を創設

現行6区分のうちの「要支援」の方は「要支援1」に、「要介護1」の方のうち、認知機能や心身の状態が軽度かつ安定している方で改善や維持が期待できる方は「要支援2」となります。

これにより、要支援1及び2に該当する方は、新たに設置する「地域包括支援センター」の保健師などがケアプランを作成し、そのプランに基づいて要介護状態などの軽減と悪化防止に効果的なサービスを新予防給付（介護予防サービス）として提供します。なお、そのほかの4区分（要介護2から5）は変更ありません。

地域支援事業を創設

介護を必要としていない方でも生活機能の低下が見られる要支援、要介護になるおそれのある高齢者の方を対象とした効果的な介護予防事業（地域支援事業）を開始します。

この事業の内容は町地域包括支援センターが生活機能の低下、介護の必要のおそれのある高齢者を本人、家族などからの相談や関係機関からの連絡などで把握します。

把握した人の中から、介護予防サービスの利用者を選定し、保健師などが本人、家族などとの相談によりケアプランを作成します。そのプランに基づき、サービスを利用できます。

主なサービス内容は次のとおりです。
・運動器の機能向上
・栄養改善
・口腔機能の向上
・閉じこもり、認知症、うつなどの予防・支援

地域密着型サービスを創設

高齢者が要介護状態になっ

ても身近な地域で、地域の特性に応じたサービス提供を行うために、「地域密着型サービス」が創設されます。
・小規模多機能型居宅介護
・認知症対応型通所介護
・認知症対応型共同生活介護
・夜間対応型訪問介護
これらのサービスについては、今後、当町でも利用できるように、取り組んでいきます。

特定福祉用具販売に指定事業者制度を導入

適切に福祉用具が利用されるように、指定事業者制度を導入します。
※指定を受けていない事業者から特定福祉用具を購入した際は給付の対象外となりますのでご注意ください。

住宅改修には事前の申請が必要

利用者の状態にあった住宅改修が適切に行われるように、町に事前に申請して、審査を受けてから工事をする事前申請制度に変更になります。

※工事後に申請した場合については給付の対象外となりますのでご注意ください。

参考) 認定区分変更の内容

	現行	改正後	
要介護認定者	要支援	要支援1	新予防給付
	要介護1	要介護1 要支援2	
	要介護2	要介護2	介護認定者
	要介護3	要介護3	
	要介護4	要介護4	
要介護5	要介護5		

川口町地域包括支援センターを創設

川口町地域包括支援センターは高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続していくけるように、高齢者の生活を支え、地域における総合相談支援、介護予防におけるケアマネジメントなどを主な業務とする高齢者支援の拠点です。

既存の町在宅介護支援センターと業務を統合し、4月1日から「川口町地域包括支援センター」になります。川口町地域包括支援センターの主な業務内容は次のとおりです。



▽介護予防ケアマネジメント

新予防給付に該当する人や、生活機能の低下が見られ、要支援、要介護になるおそれのある高齢者の予防に関するケアマネジメントを行います。

▽総合相談支援

地域の高齢者を支援するためのネットワークを構築し、高齢者の心身状況の把握や家庭環境などの実態把握などを行い、介護予防サービスに関する初期相談や情報提供を行います。

▽医療機関などの連絡調整

主治医やケアマネージャー（介護支援専門員）などの地域関係機関と連携し、医療機関や介護サービス関係施設との協力体制を構築し、連絡調整を行います。

このほか要介護者などへの

在宅介護支援を行います。

※3月連絡長会議時に、この制度改正のチラシを被保険者に配布する予定です。

生活福祉課
☎ 89-4418

用語解説

ケアマネージャー

介護保険で介護が必要と認定された人々に、そのサービスを適切に組み合わせる計画的に提供すること。

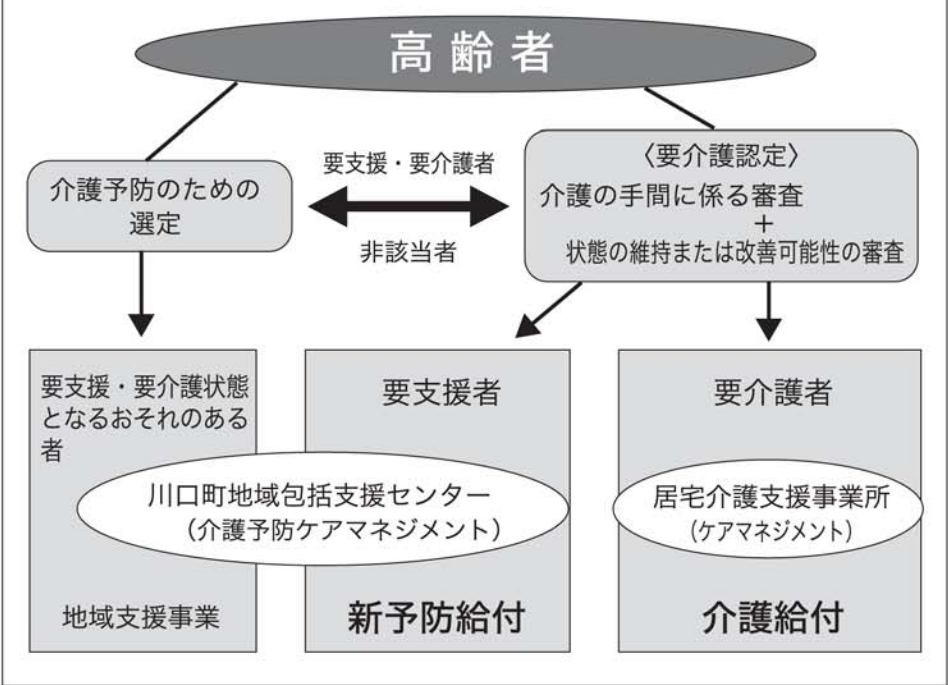
ケアマネージャー

介護支援専門員ともいう。ケアマネージャーは各市区町村からの委託を受けて、要介護認定を受けたい人が申請するための必要な訪問調査を行います。認定後は本人の状況を把握してどんな介護が必要かを判断しケアプランを作成、介護サービスを提供する事業者や介護施設などの調整役としてプランにそったサービスの提供が行われるようにする役割を持ちます。

ケアプラン

介護保険の対象となるサービスを、実際にどのように受けるかを決めたサービスの実行計画書のことです。これに添って保険給付が行われます。

参考) 介護保険制度の改正後の全体像



復興支援ライブ

風と大地と島を唄う

ばい かじびとぅ 南ぬ風 人まーちゃんバンド

沖縄県西表島出身の南ぬ風人まーちゃんバンドが復興支援ライブとして沖縄島唄などを演奏します。皆で楽しみ唄って踊って元気になりましょう。皆さんのお越しをお待ちしています。

日時 **3月10日(金) 19時~**

会場 生涯学習センター研修室

ばい かじびとぅ 南ぬ風 人まーちゃんプロフィール

沖縄県西表島星立村出身、
本名 山下正雄。



「風人」(かじびとぅ)という理念のもと、オリジナルや沖縄島唄を唄い、みんなが楽しむことができる唄って踊ってもーあしびーライブを展開。「平和を願い、自然を思う」を趣旨とした音楽祭「風人の祭」を各地で創り、西表島では「砂浜芸能祭」を開催している。

問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112



蒼丘の杜公園一部施設の 予約受付を開始

震災の復旧工事のため、休業してしまいましたが蒼丘の杜公園の一部施設を、5月3日(雪解けが遅いときは変更となる場合があります)から再開します。
3月1日から公園の一部施設の予約を受け付けますので、ご利用ください。

- 利用できる施設
- ・オートキャンプ場
 - ・キャンプ場
 - ・コテージ
 - ・多目的広場
 - ・テニスコート
- 予約・問い合わせ 公園施設管理センター
☎89-4171

2年続きの豪雪

当町では、総降雪量が2月の時点で昨年を上回り、2年続きの豪雪に見舞われました。この雪の状況についてお知らせします。なお町雪害対策本部では引き続き、なだれなど雪害を警戒しています。

総降雪量は昨年を超えて

2月6日、役場付近では積雪298cm、木沢地区では積雪378cmを観測し、今年の日当り20cm以上の降雪が観測された日数は29日間で総降雪量1115cm(平成18年2月



▲除雪作業に追われて(木沢地区)

最大積雪深を記録しました。また今年度、役場付近で1



▲泉水小学校仮設住宅での一斉雪下ろし

なだれにご注意ください

3月に入り、気温の上昇に伴いなだれが発生しやすくなってきました。急傾斜地や雪庇の下など、なだれの危険箇所には近づかないでください。

また雪びやなだれの危険場所などを発見したら、雪害対策本部までご連絡ください。問い合わせ 雪害対策本部 ☎89-3111

25日現在)と、昨年度(平成17年3月末日までの)20日間、総降雪量1033cmを上回りました。

中越地震被害調査結果報告会

~川口町の震災と地盤~を開催

川口町を一変させた大震災—何が災害をもたらしたのか?震災時地下で何が起きていたのか?川口町における中越地震被害の調査研究結果の報告とともに関連した図などを展示し個別の質問にお答えします。また懇親会もありますので、ご参加ください。

日時 **3月25日(土)**
13時30分~17時 (13時開場)

会場 生涯学習センター

主催 産業技術総合研究所、防災科学技術研究所、新潟大学

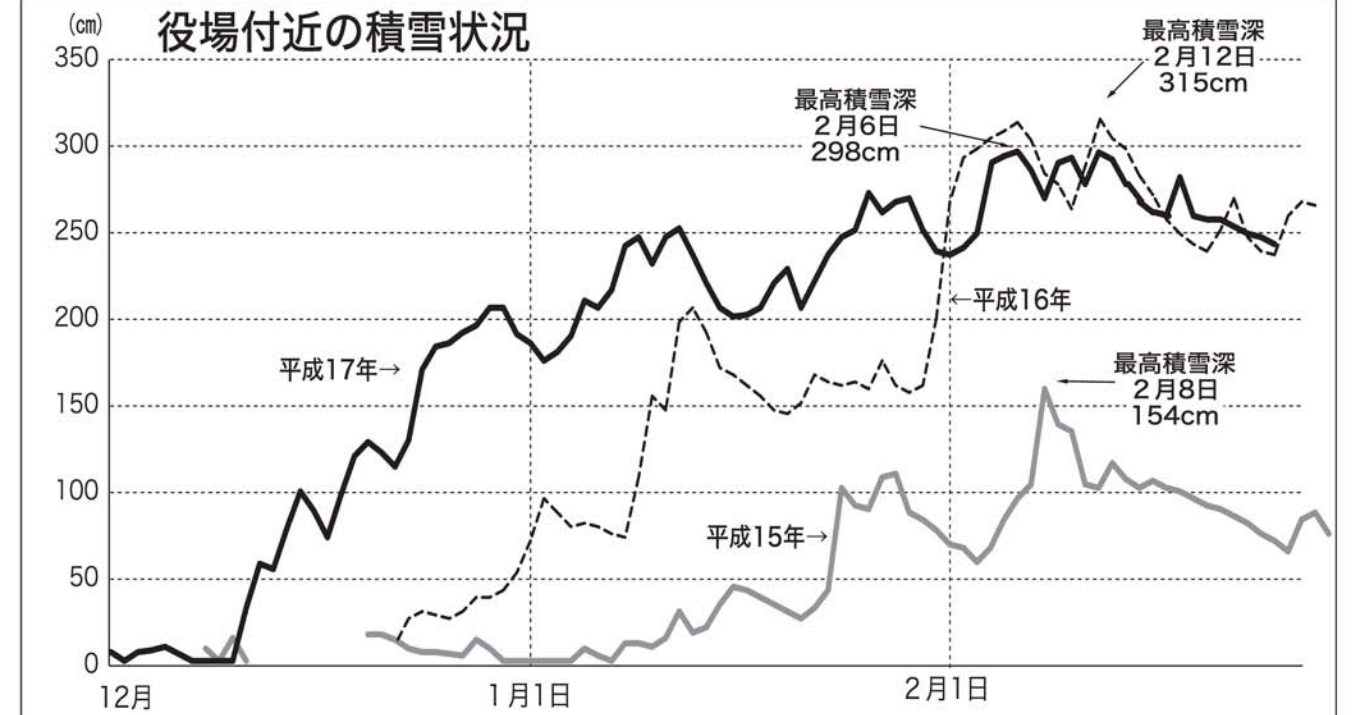
内容

- 第1部 報告会(参加費無料、申込不要)
13時30分~17時
・中越地震の研究報告会
・パネル展示とそのQ&A
- 第2部 懇親会(参加費1,000円、事前申込み必要) 17時30分~19時30分
※懇親会は事前の申し込みが必要です。参加希望の方は役場企画商工課(☎89-3112)までお申し込みください。

問い合わせ 産業技術総合研究所地質情報研究部門 ☎029-861-3839



役場付近の積雪状況



町ボランティアチャレンジ隊 除雪作業に汗を流す

2月5日、町の一人暮らしの老人世帯を対象に、町ボランティアチャレンジ隊による小学生から高校生を含めた19人が木沢地区で第1回目の除雪作業を行いました。

この事業は、町生涯学習事業学びの里大学「ボランティア実践講座」の一環として、小学校4年生以上を対象に除雪ボランティアを募って行ったもので、遊雪隊と協力し屋根から下ろした雪の片付け作業を行いました。

当日は、あいにくの悪天候でしたが、子どもたちは小さな手で一生懸命作業し、心地よい汗を流していました。

降雪期の児童の安全を守りたい 東部第一老人クラブ、通学路の除雪を実施

東部第一老人クラブでは、児童たちの通学路になっている国道17号川口交差点の歩道橋の除雪作業を行っています。

これは降雪期になると融雪装置の働く歩道橋が豪雪のため消雪が間に合わず、また歩道橋までの通路が積雪で歩行困難となる状況の中、通学している児童たちの安全を守りたいと歩道橋と歩道橋までの通路の除雪に協力したものです。

昨年12月28日から5班が一週間交替で除雪作業を行ってきました。

東部第一老人クラブ代表の佐藤千秋さんは「積雪のある朝は、これからも続けていく予定です。子どもたちの通学路がケガや事故のない安全な通路であるように、皆で願って除雪作業をしています」と話していました。



▲和南津地区の雪灯り回廊



▲武道窪地区



▲木沢地区



▲川口中学校仮設住宅では川口中学校1年生と仮設住宅入居者が力を合わせて雪灯りを作成しました



▲あぐりの里前の雪灯り

雪灯り回廊、復興への「希望の灯り」 幻想の雪灯りが町を包む

2月11日、雪洞火ほたる祭の主要行事は中止となりましたが、各地区では地区住民やボランティアが参加して雪灯り回廊や雪灯りアートなどを作成、元氣と希望の灯りを灯しました。
復興の祈りを込めた雪灯りが、町中を包み込みました。

大会結果のお知らせ (敬称略)

平成18年魚沼市・川口町
新春小・中学生書道展
(1/28~1/29・小出郷福祉センター)

- 大賞 宮 紗智 (川中3年)
- 準大賞 渡辺 洋平 (川中2年)
- 吉原有佳理 (川中3年)
- 優秀賞 山森 絵莉 (川中1年)
- 奨励賞 丸山 美樹 (川中2年)
- 星野 桃果 (川中2年)



宮紗智さんの作品

宮柊二記念館短歌大会

宮柊二記念館長賞

- 関 裕子 (川小6年)
- 内藤 美穂 (川小6年)

第11回川口町小学校親善
クロスカントリー大会

(2/2・川口中学校周辺)

- 団体の部 男子 1位 川口小学校A
- 女子 1位 川口小学校A

個人の部

- 5年男子 1位 武士俣亮太 (川口小)
- 2位 堀沢 和磨 (川口小)
- 3位 宮 勇貴 (泉水小)
- 5年女子 1位 水落かおる (田麦山小)
- 星野 佑果 (川口小)

- 3位 川上 知香 (川口小)
- 6年男子 1位 関 和貴 (川口小)
- 2位 広井 拓 (泉水小)
- 3位 渡辺 一機 (川口小)
- 6年女子 1位 佐藤 杏奈 (田麦山小)
- 2位 樋口 理子 (川口小)
- 3位 樋口 奈子 (川口小)

第7回川口町オープンバドミントン大会
(2/19・川口中学校体育館)

男子ダブルスAクラス

- 1位 藤田・生越 (HBA・川西)
- 2位 石田・高山 (魚沼羽根の会)
- 3位 五十嵐・小嶋 (翔竜会)

男子ダブルスBクラス

- 1位 池田・丸山 (川口)
- 2位 永井・小西 (翔竜会)
- 3位 大川・土田 (青年オールド)

男子ダブルスCクラス

- 1位 山崎・連代 (翔竜会)
- 2位 大淵・小嶋 (川口)
- 3位 久保田・中町 (下条クラブ)

女子ダブルス

- 1位 今井・大野 (川口)
- 2位 五十嵐・田崎 (飛翔)
- 3位 笹崎・綱 (川口)

雪灯りボランティア大活躍

雪洞火ほたる祭実行委員会にて応募した雪灯りボランティアに首都圏をはじめ県内外から合わせて約100人が参加、役場駐車場や国道17号の魚野川堤防沿い、町道中山竹田線に雪灯り回廊などを作成しました。

また、木沢や和南津、田麦山地区などにもボランティアが訪れ、雪灯りなどの作成を手伝い、各地区の雪灯りづくりを応援しました。



復興のキャンドル点灯&ライブを開催

2月11日、役場駐車場においてキャンドルアーティスト「キャンドルジュン」による復興キャンドルの点灯と関西インディーズ・チャリティーライブ参加メンバー「LIZ」によるライブコンサートが行われました。

会場内は約500本の復興キャンドルが色鮮やかに灯り、「LIZ」の透きとおった歌声が来場者を温かい気持ちにしました。

また雪洞火ほたる祭のふるさと市場に参加予定だった町内女性グループが出店し、けんちゃん汁などを振舞いました。

参加者全員で復興の灯りを囲み、一人ひとりが復興への祈りを込めました。



地区のわだい



2月11日、田麦山地区で雪まつりが田麦山地区協議会の主催により開催されました。当日は朝から地区住民とボランティア「あいち中越支援ネットワーク」の皆さんでまつり会場づくりを行い、午後6時からまつりが開始されました。ロウソク一千本が灯された会場ステージには「田麦山」の文字が鮮やかに浮かび上がりました。また地区内には一千本のロウソクを使った雪灯り回廊などの雪灯りが灯されました。

元気ですー田麦山 田麦山地区で雪まつり



会場ではうさぎ汁やトン汁、甘酒、焼もち、ボランティア提供の味噌煮込みうどんなどが振舞われました。またボランティアは物産店で赤味噌などを販売し、この売上金を地区に寄付しました。

ステージでは十日町市の劇団が方言を交えたユーモア溢れる劇を披露し、来場者を楽しませてくれました。またボランティア「あいち中越支援ネットワーク」が田麦山地区の子どもたちを愛・地球博に招待したときのビデオを雪壁に上映しました。会場は温かな灯火の中、笑い声が飛び交い、和気あいあいとした雰囲気になっていました。

HOT トピックス

身近な情報をお寄せください！企画商工課 ☎89-3112

白熱のレースに大興奮 小学校親善クロスカントリースキー大会

2月2日、川口中学校周辺において町内小学校5、6年生による町小学校親善クロスカントリースキー大会が行われました。全長1・5キロのコースで個人競技とリレー競技が行われ、日頃の練習の成果を発揮して競い合いました。

個人競技では、約100人が男女別に分かれ、タイムを競いました。またリレー競技では、各学校



の選手3名がそれぞれリレー、順位を競い合いました。ゴールを目指してがんばる児童たちに、大きな声援が飛び交い、白熱のレースに会場は熱気に包まれていました。

沖縄県で被災地の生の声を伝える

2月17日、沖縄県名護市で行われた健康危機管理研修会に、中越地震被災地の当町から廣井伸昭さん（相川1）と役場の須田裕子保健師が招かれ講演しました。

沖縄県北部福祉保健所では、名護市にモデル地区を設定し同地区住民とともに、「地域の災害弱者」を地域ぐるみで守る体制を整備するための計画策定を進めています。この一環として実際の被災時の体験や保健活動などを聴き、計画策定に役立てようと講演会を開催したもので、名護市民や消防、保健関係者など約130人が参加しました。

廣井さんは、相川地区総代（当時）として地震発生時からの対応や感じたことなどを、また須田保健師は震災時からの保健活動や災害弱者への対策について、当時の状況を生々しく語りました。



宇宙飛行士野口聡一さんの手と児童たちの手がつながった！

1月31日、宇宙飛行士野口聡一さんから贈られた手形が泉水小学校の宇宙手形に加えられ、野口さんの手と児童全員の手がつながりました。

宇宙と地上を結ぶ宇宙手形は、昨年7月スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗した野口さんの活躍と無事帰還の願いを込めてその2か月前に児童全員で作成したもので、宇宙に向かって児童61人の手が伸びています。

このたびディスカバリー号で描いた野口さんの手形が児童全員の手形とつながったことで、児童たちは野口さんの願いでもある「みんなで手をつないで力を合わせ美しい地球を守っていく」ことを誓い、「野口さんと心もつながった」と喜んでいました。



笑いで疲れを吹き飛ばせ！ JUNGの健康への講演会開催



2月20日、生涯学習センターにおいて落語家 水都家艶笑氏とほんだ病院院長 本田建一先生を迎え、「こころの健康づくり講演会」が行われました。

当日、約50人が訪れ、水都家艶笑氏のお酒の話など健康に関する話題を交えた絶妙の落語に笑いが絶えませんでした。また本田建一先生はつい飲み過ぎてしまうお酒との上手な付き合い方を、ユーモアを交え分かりやすく講演、来場者は笑いの中にも真剣に聴き入っていました。

来場者は震災後の疲れた心を笑いのパワーで吹き飛ばしました。

元気モリモリ コンロひとつでアイデア料理 紅白柿なます

越冬用の大根はまだ残っていますか。煮物でもサラダでもどんな料理とも相性のいい大根。今回は干し柿入りなますです。

干し柿の甘さがなますにぴったり。



- 材料（4人分）
大根.....400g
にんじん.....40g
塩.....少々
干し柿.....2個
ゆずの皮.....少々
甘酢 { 酢.....100cc
砂糖.....大さじ4
塩.....小さじ1/3

●作り方

- ①大根、にんじんは皮をむき、4cm長さでたてのせん切りにする。ボールに入れて塩小さじ1と1/2を振り、最初は軽く、水気が出てきたら少し力を入れてもむ。
②しんなりしてきたら塩気が少々残る程度に水を加え、水気をよく絞る。
③小鍋に甘酢の調味料を合わせて火にかけて砂糖が溶けたら火からおろして冷ます。
④干し柿はヘタと種を取り除いてせん切りにし②と合わせて甘酢で和える。
ゆずの皮のせん切りを混ぜる。
⑤味がなじんだら軽く水気を絞って器に盛る。

「コンロひとつでアイデア料理」は食生活改善推進委員が紹介しています



右から 星野 文江（木沢）☎89-3396 山田 邦子（中山）☎090-4070-4385